

もっと伝えよう がん登録 —子宮(頸部・体部)がん—

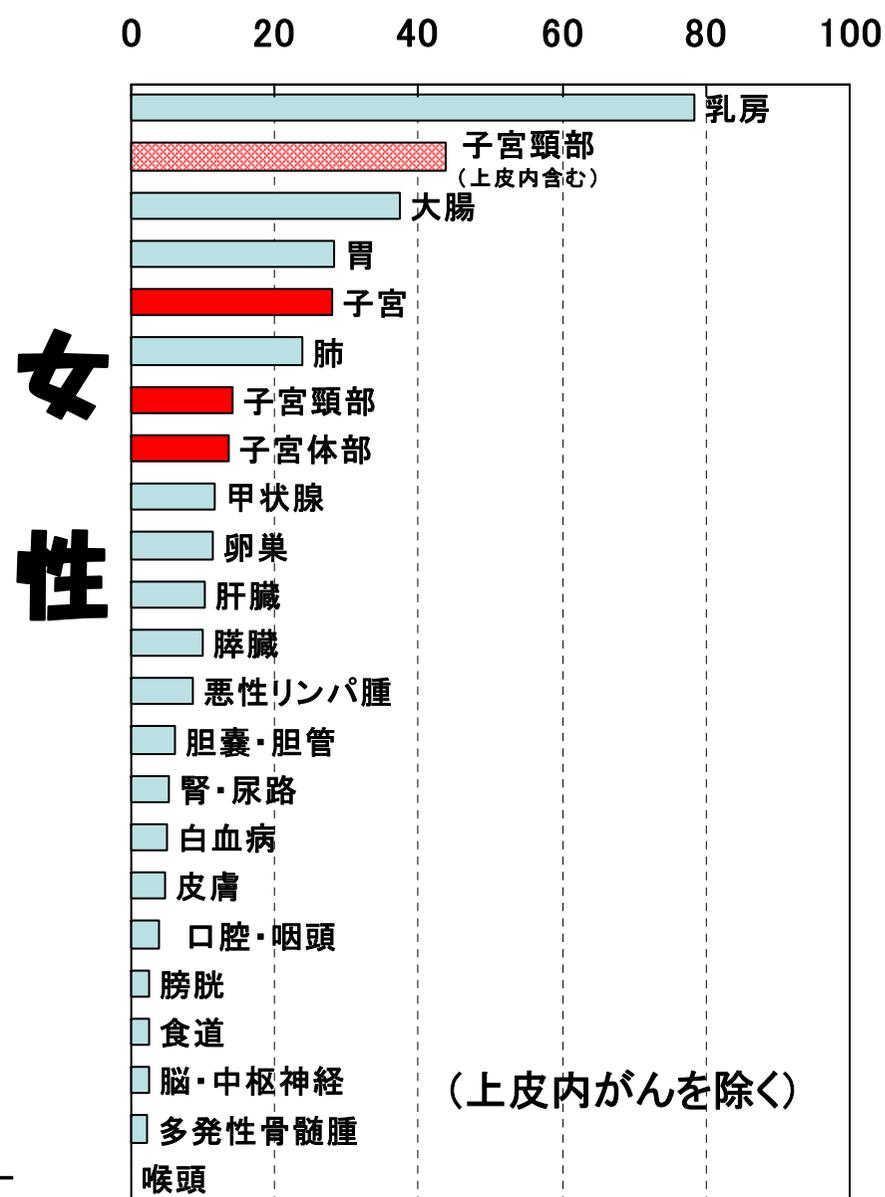
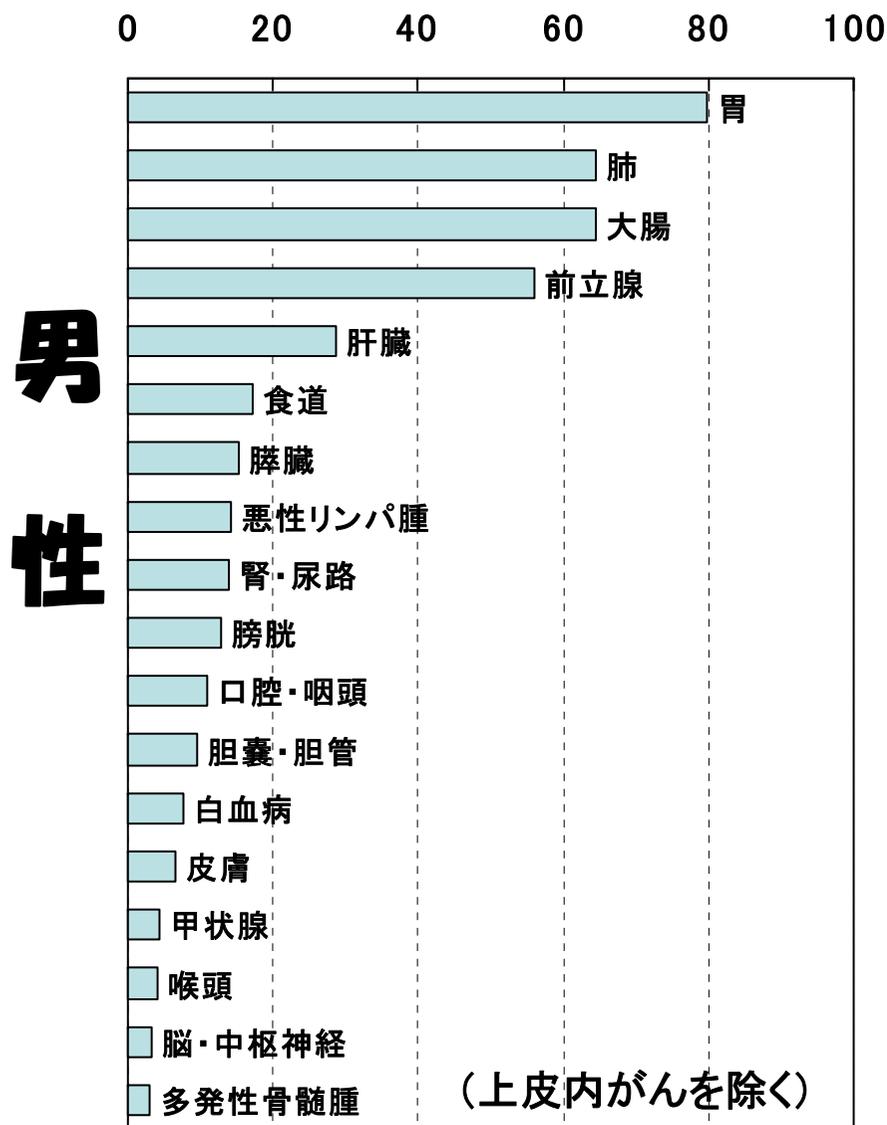
広島市立広島市民病院
医療支援センター 診療情報管理室

梅本 礼子

国立がんセンター院内がん登録中級者
国立がんセンター院内がん登録指導者
国立がんセンターがん登録実務者研修専門家パネル委員

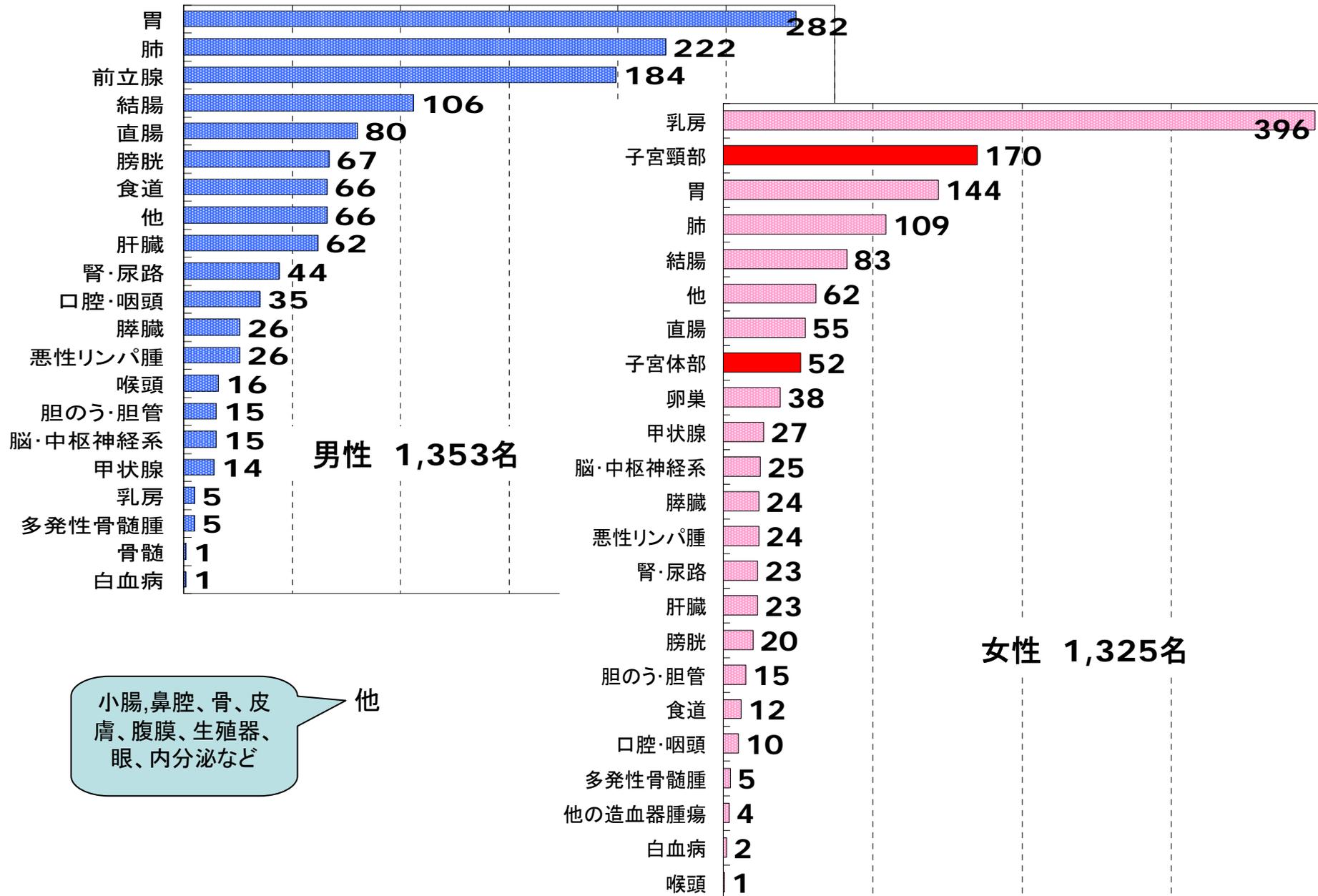
症例区分	生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分2: 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 症例区分3: 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例。 上記を集計対象とし、算出することとする。
治療前ステージ	UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療の行われる以前につけられた病期を指す。 我国の通常臨床現場で使用されるがん取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。 癌腫が分類の対象となっていることから、組織診断名コードをもとに、肉腫やリンパ腫、カルチノイドを除いて集計している。一部UICC7th(2012年症例以降)により変更されている対象がある。
治療	登録対象となったがんに対する初回治療である。
初回治療	治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療は含まれないことに注意する必要がある。特に当初、経過観察が計画されて病状が悪化したために治療が行われた場合も初回治療はなしとなる。初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。症状緩和的な目的でおこなわれた手術や放射線治療も部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから、登録対象の治療に含まれる。

全国推定年齢調整罹患率(部位別・性別)2010年 (対人口10万人) 昭和60年日本人モデル人口



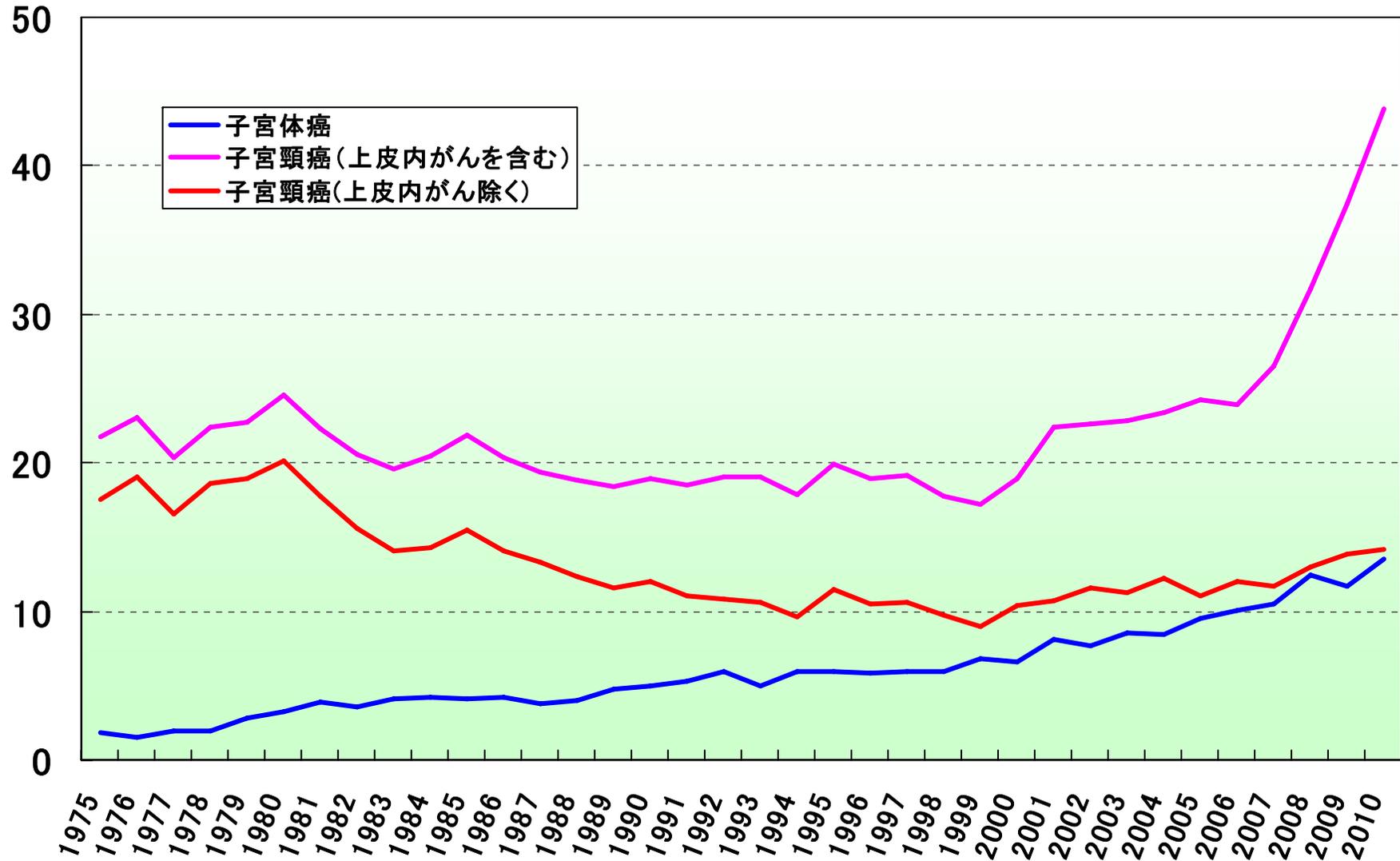
出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Cancer incidence(1975-2010)

広島市民病院の院内がん登録 性別臓器別登録件数 2013年(初回治療施行例)



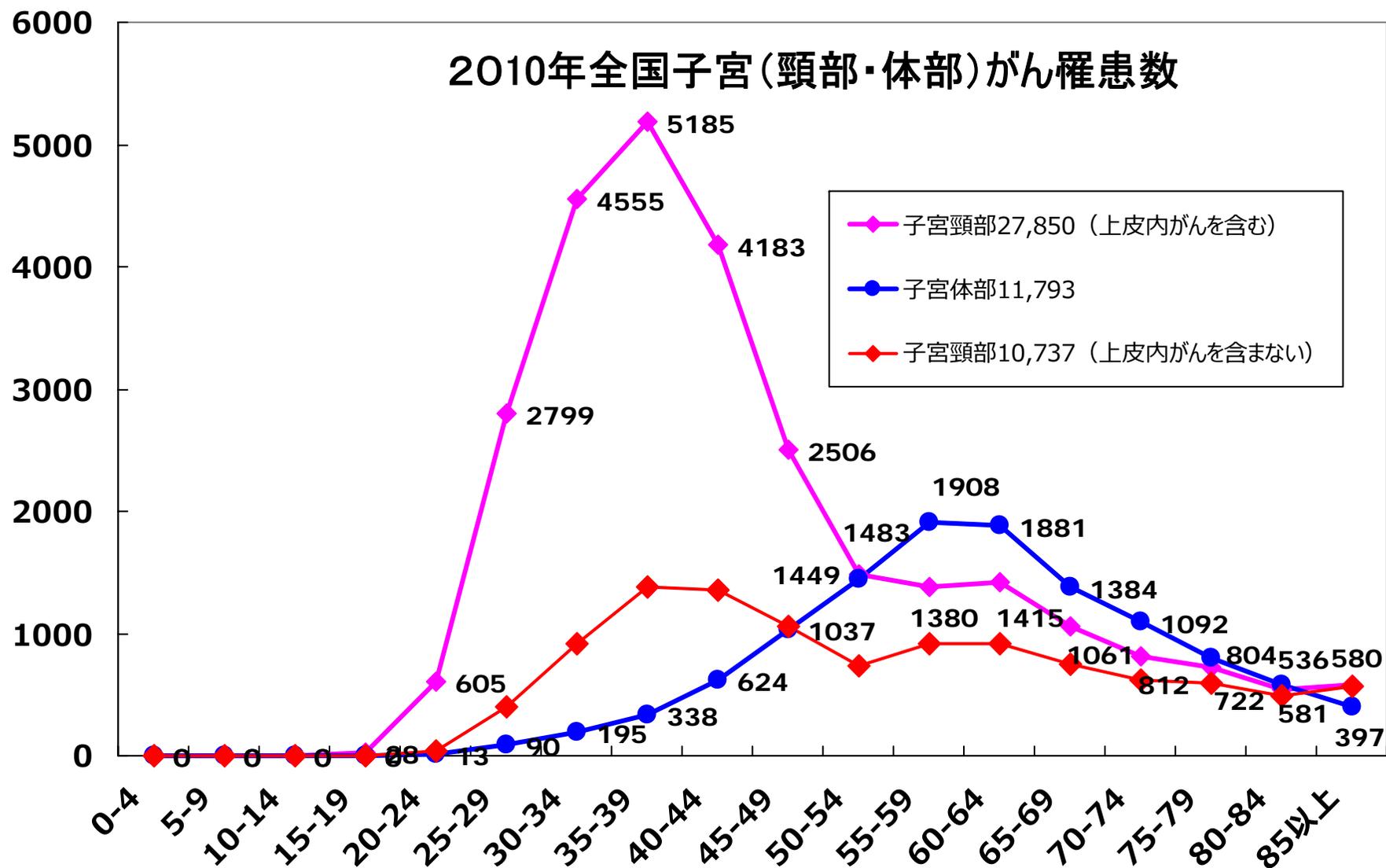
他
小腸、鼻腔、骨、皮膚、腹膜、生殖器、眼、内分泌など

全国推定年齢調整罹患率(子宮頸癌・子宮体癌)
(対人口10万人)(昭和60年日本人モデル人口)



出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Cancer incidence(1975-2008)

全国年齢階級別性別推定罹患数



出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Cancer incidence(1975-2010)

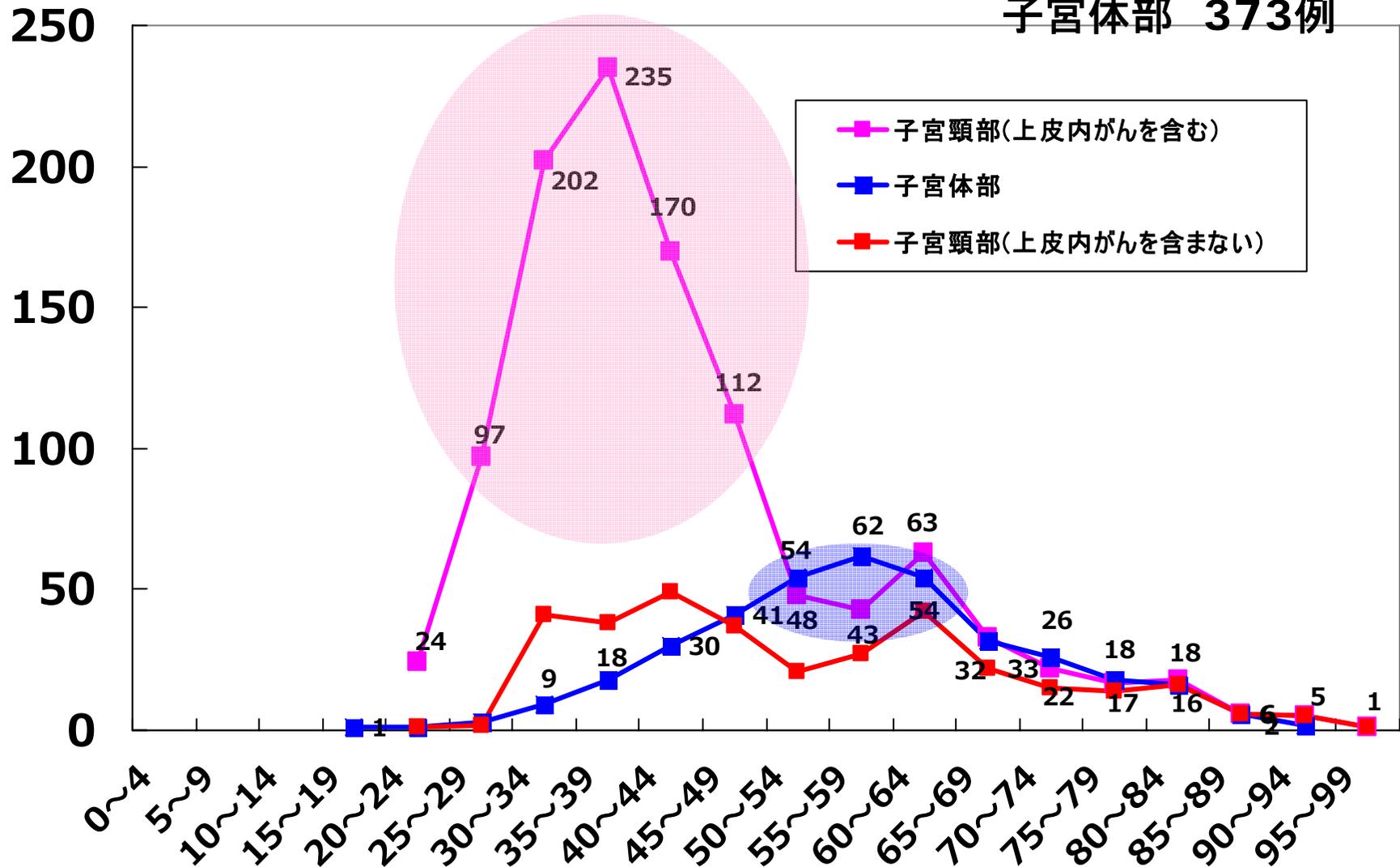
院内がん登録 子宮（頸部・体部）癌

性別年齢階級別罹患数

2007年～2013年

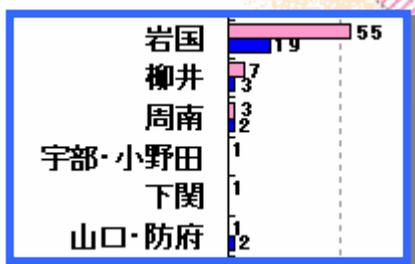
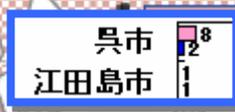
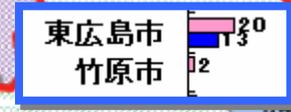
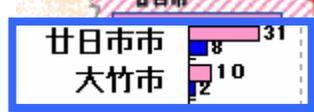
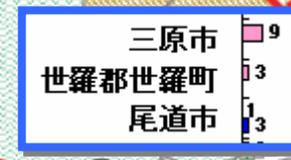
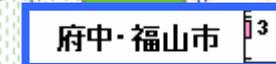
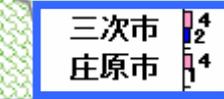
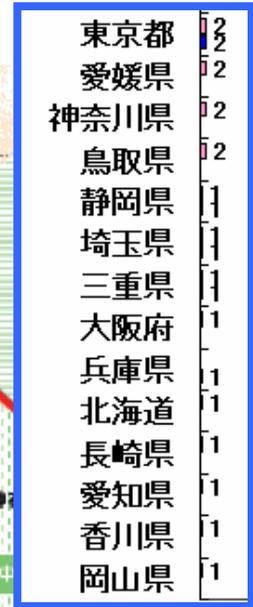
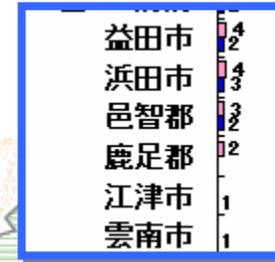
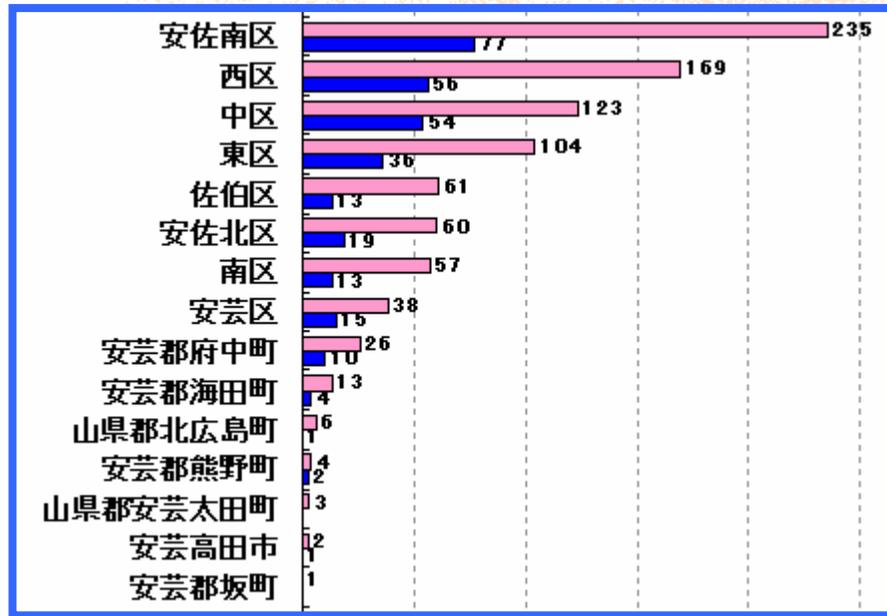
子宮頸部 1096例

子宮体部 373例

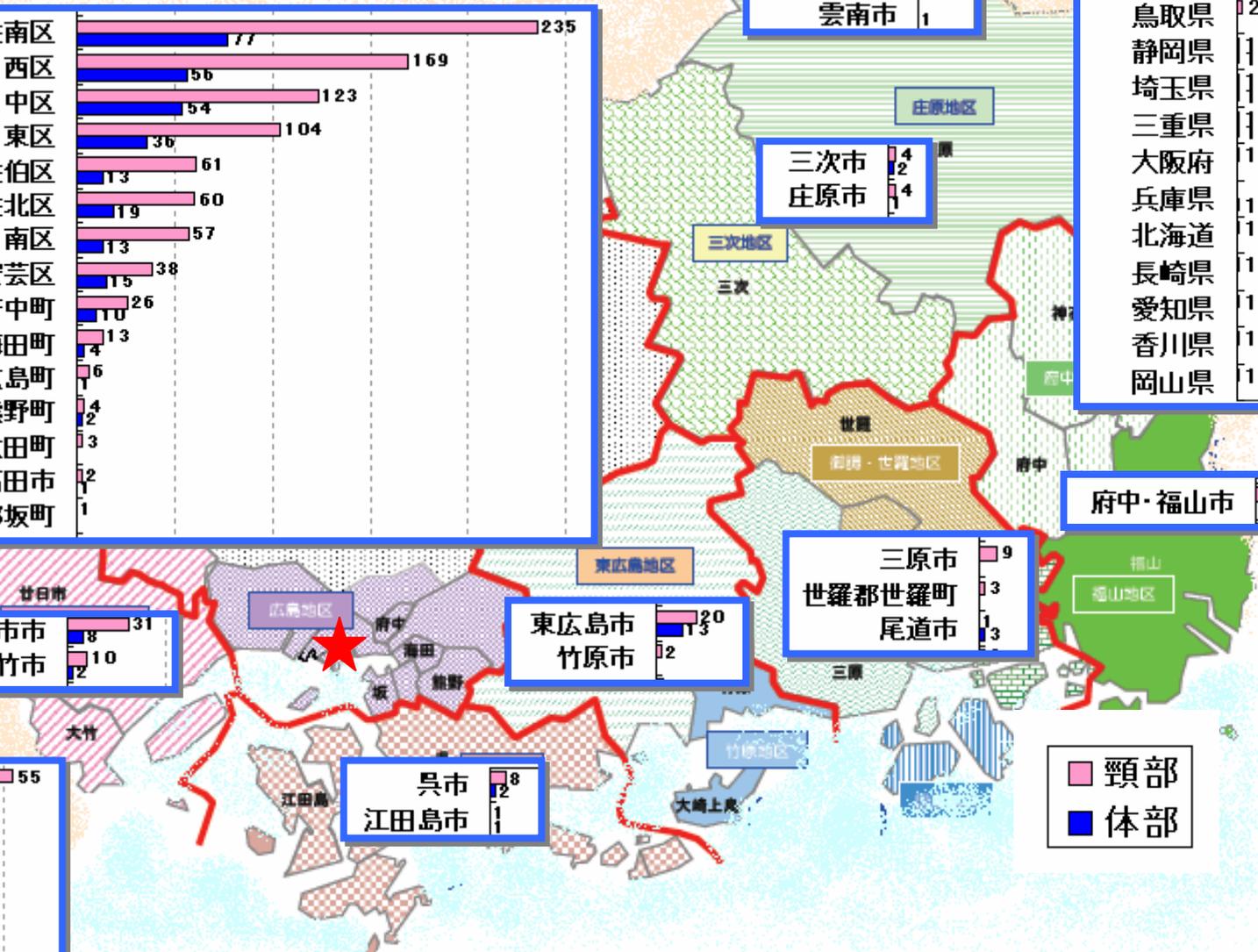


子宮がん患者さんの 居住地域別（医療圏別）登録数

2007年～2013年
1469例



■ 頸部
■ 体部

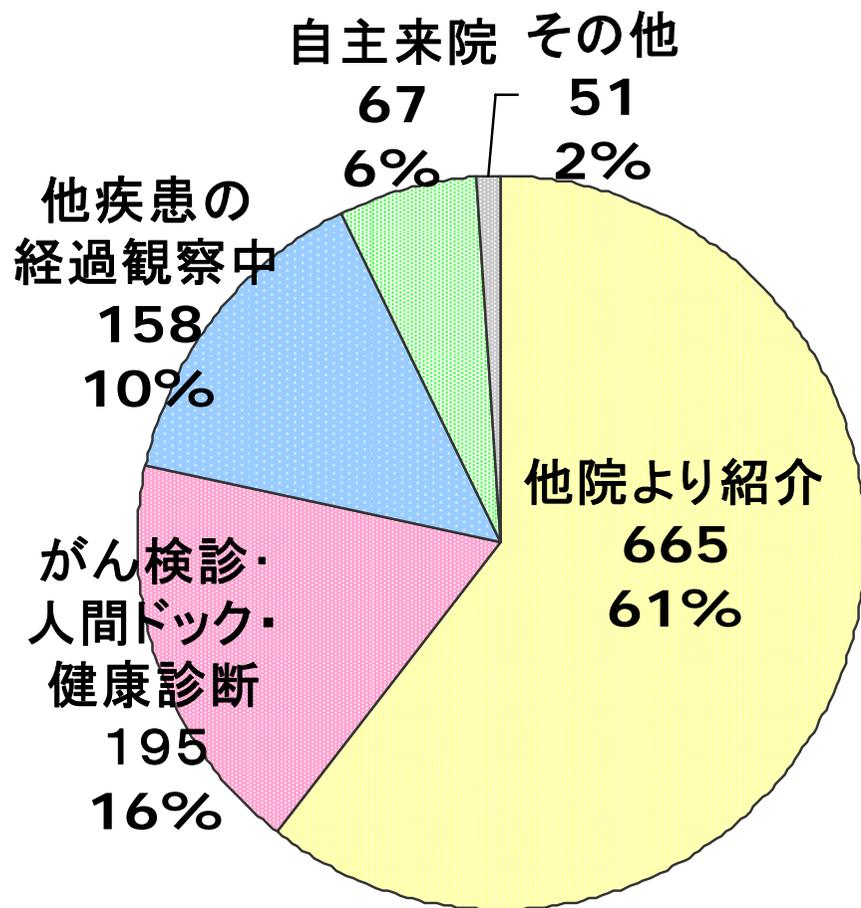


院内がん登録 子宮頸部癌登録数(癌腫のみ)

2007年～2013年
1096例

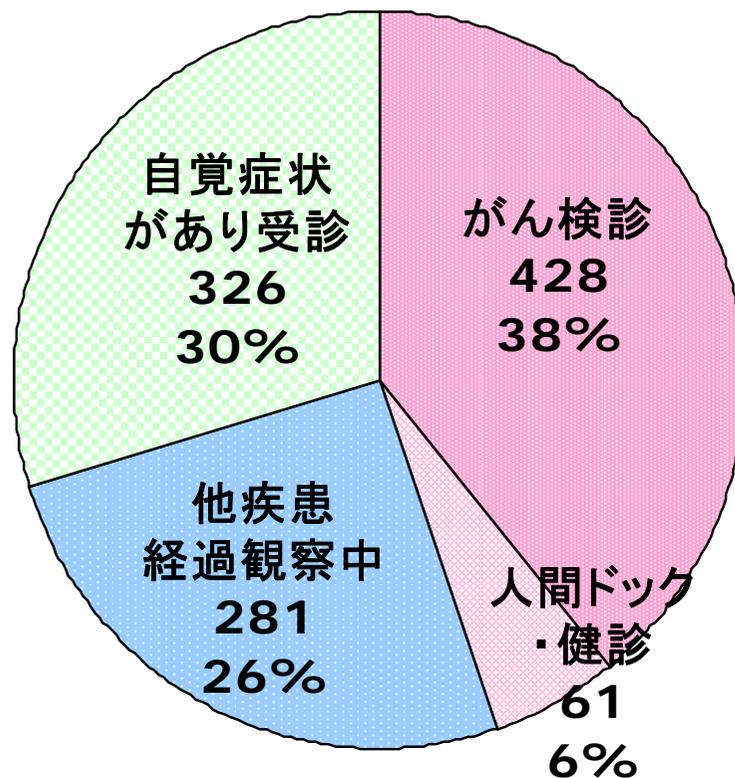
来院経路

(患者さんはどの施設から来られたの?)



発見経緯

(どうして癌が見つかったの?)

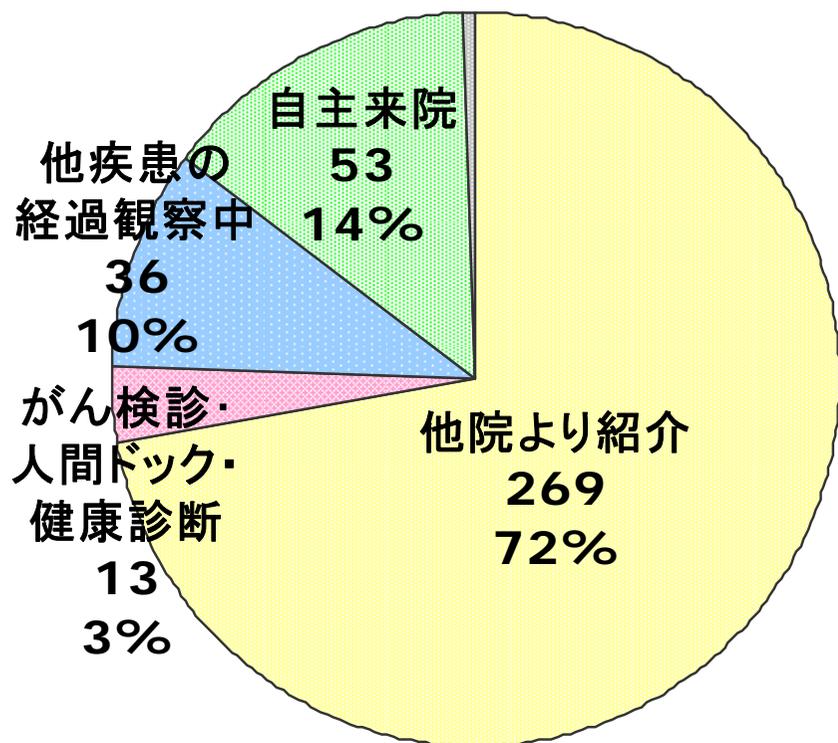


院内がん登録 子宮体部癌登録数(癌腫のみ)

2007年～2013年
373例

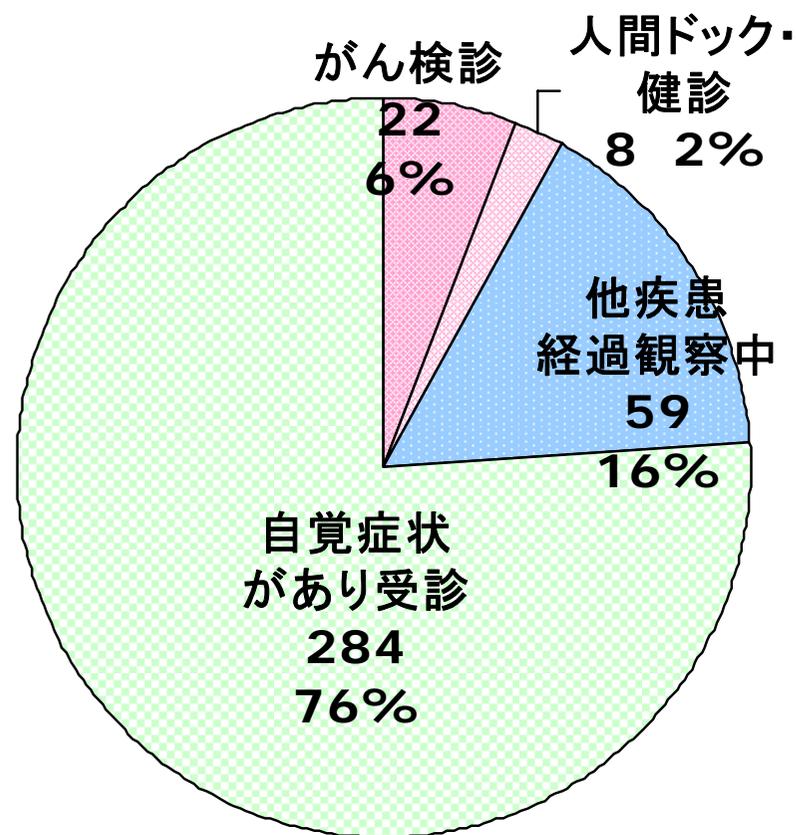
来院経路

(患者さんはどの施設から来られたの?)



発見経緯

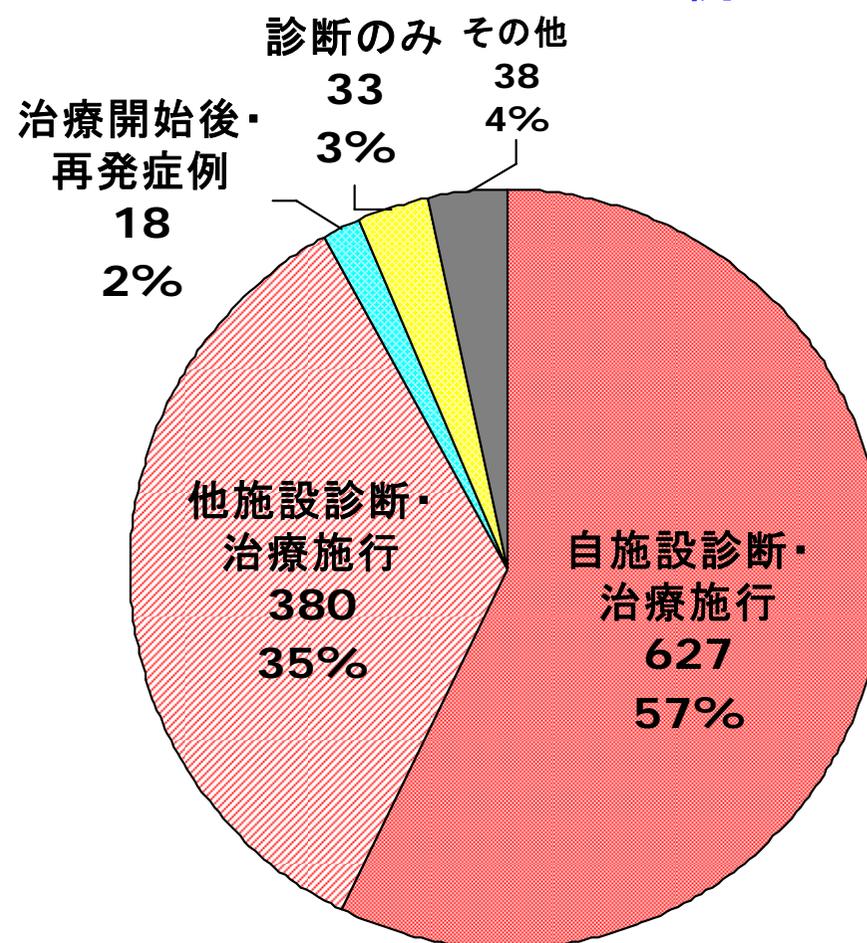
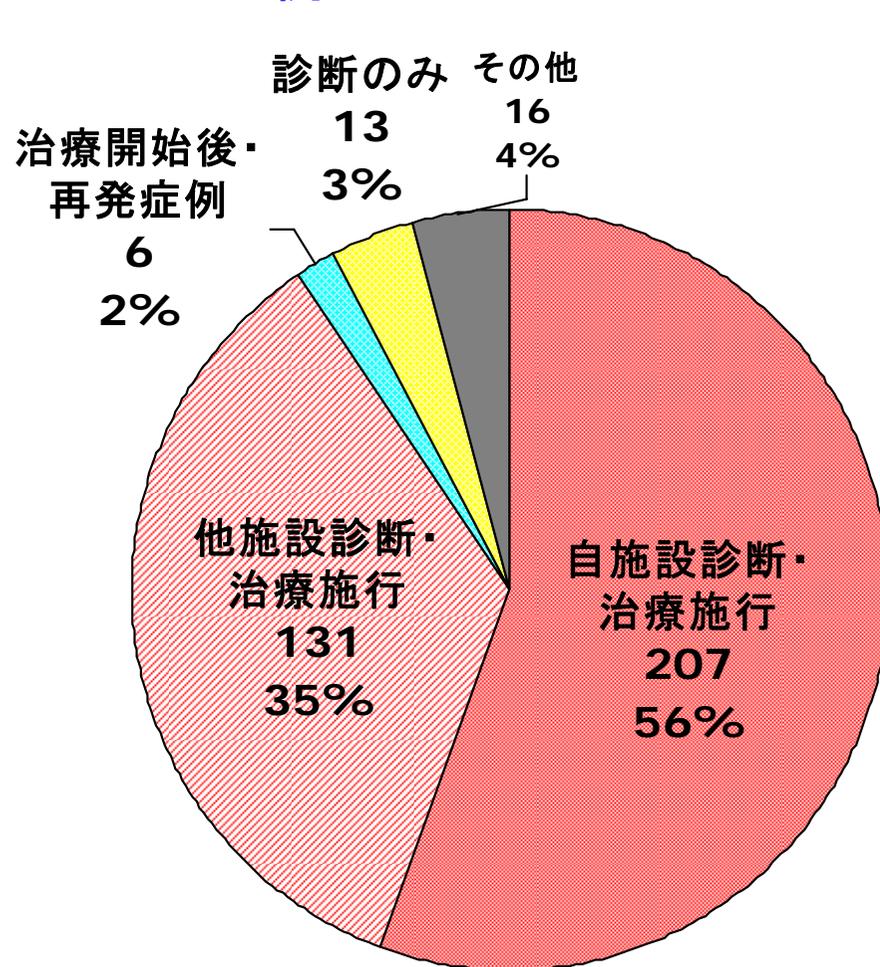
(どうして癌がみつかったの?)



院内がん登録 子宮がん 症例区分別登録数推移

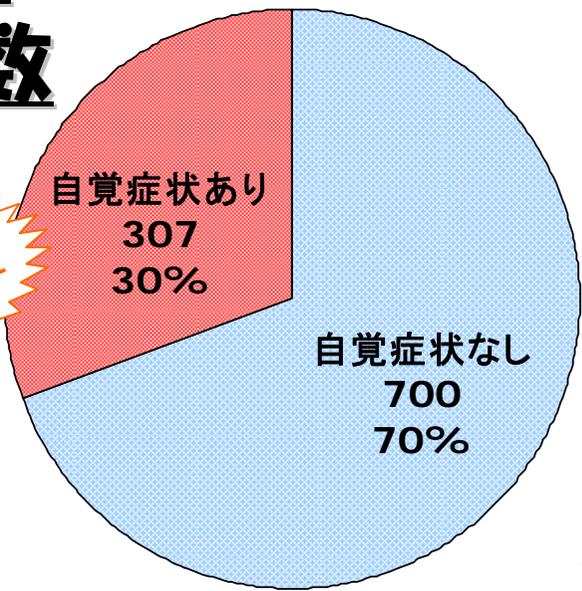
子宮体癌
2007年～2013年
373例

子宮頸癌
2007年～2013年
1096例

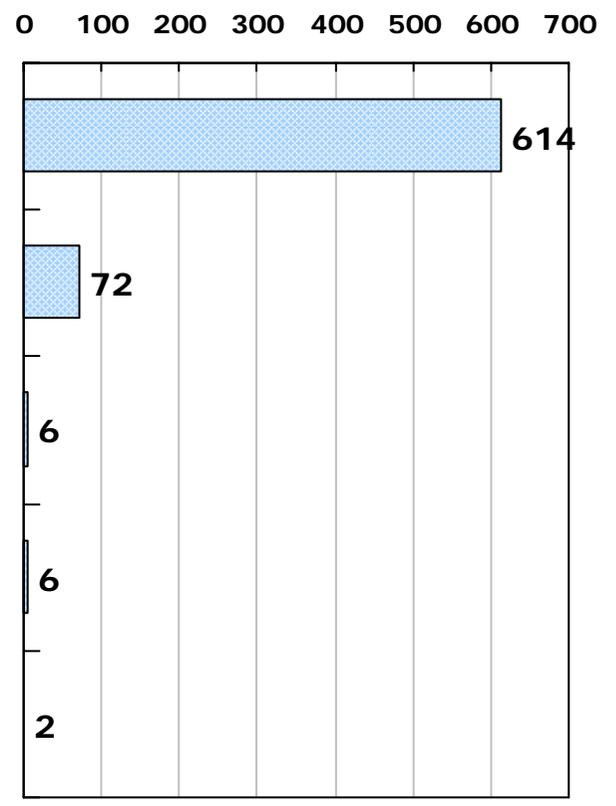
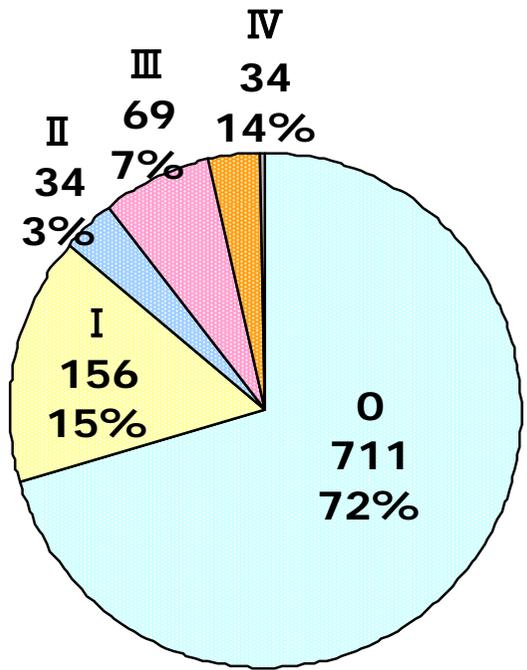
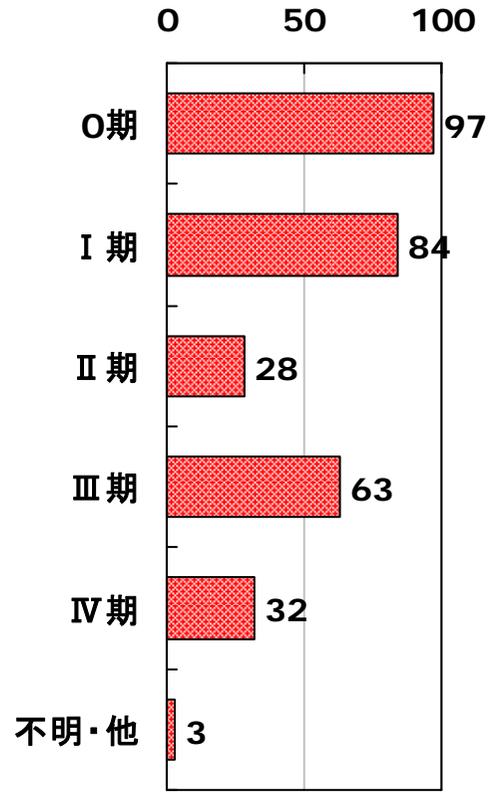


院内がん登録 子宮頸癌登録数

不正性器出血

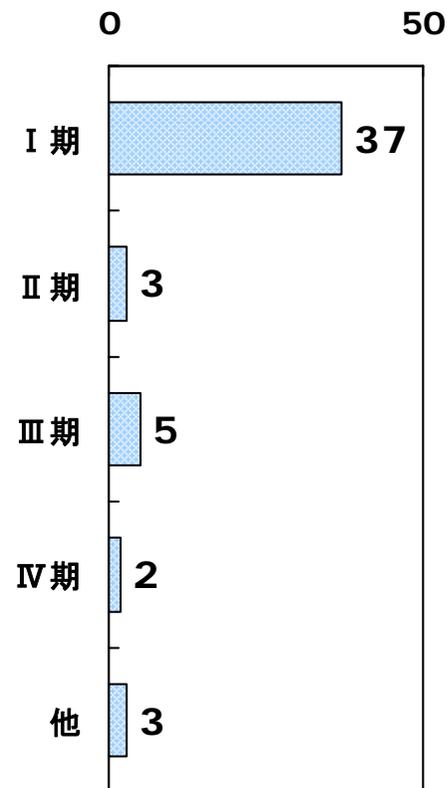
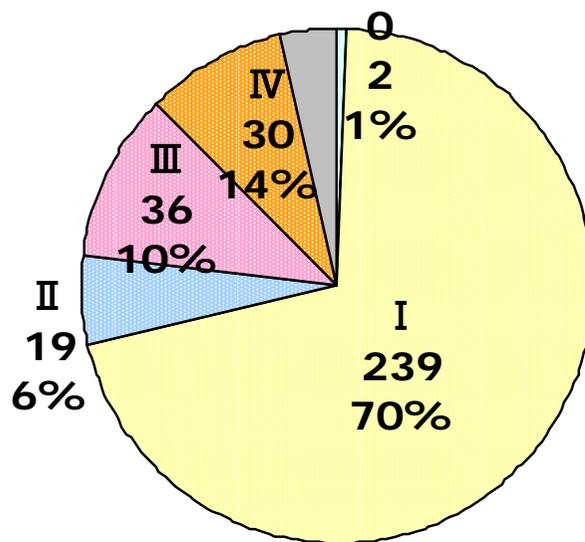
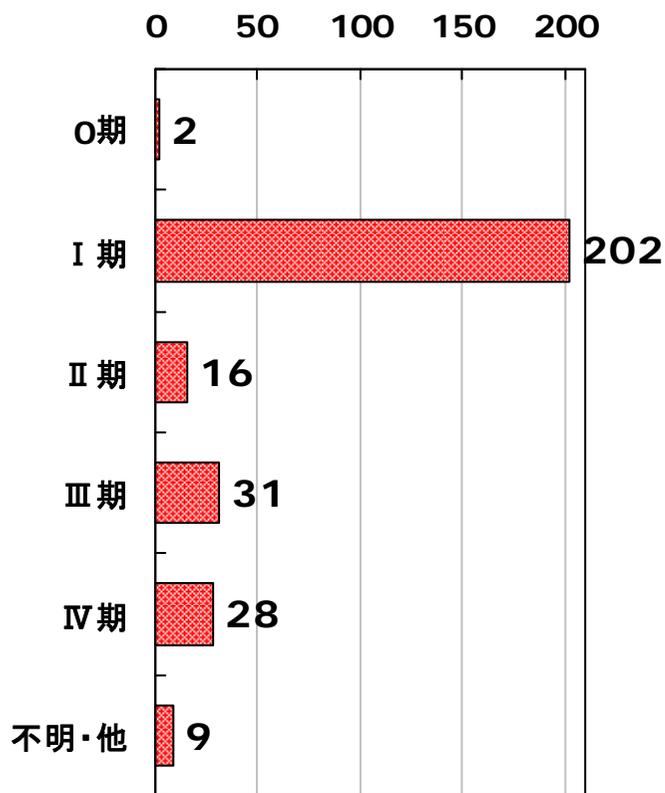
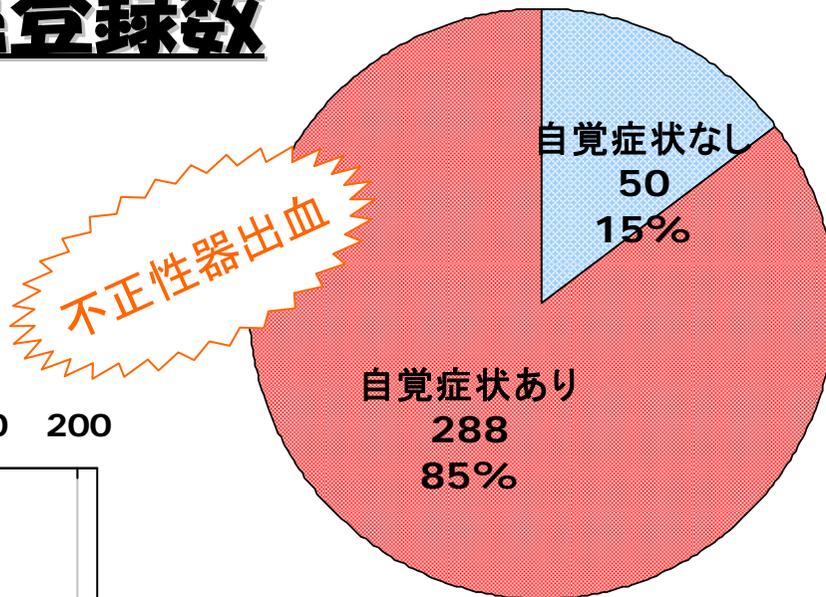


2007年～2013年
初回治療施行
1007例



院内がん登録 子宮体癌登録数

2007年～2013年
初回治療施行
338例



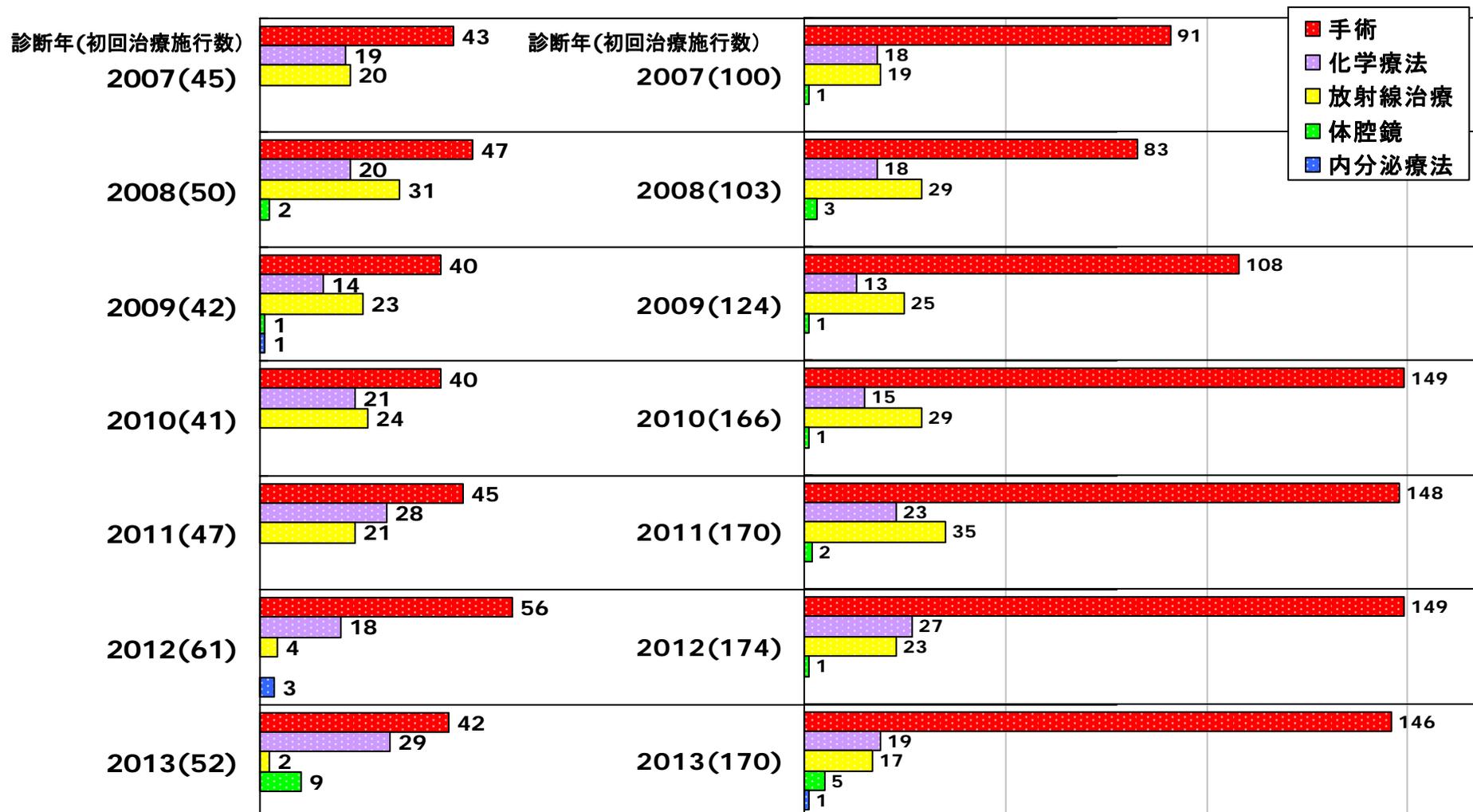
院内がん登録 子宮癌

2007年～2013年
初回治療施行症例 癌腫のみ

診断年別初回治療法別登録症例数

子宮体癌338例

子宮頸癌1007例



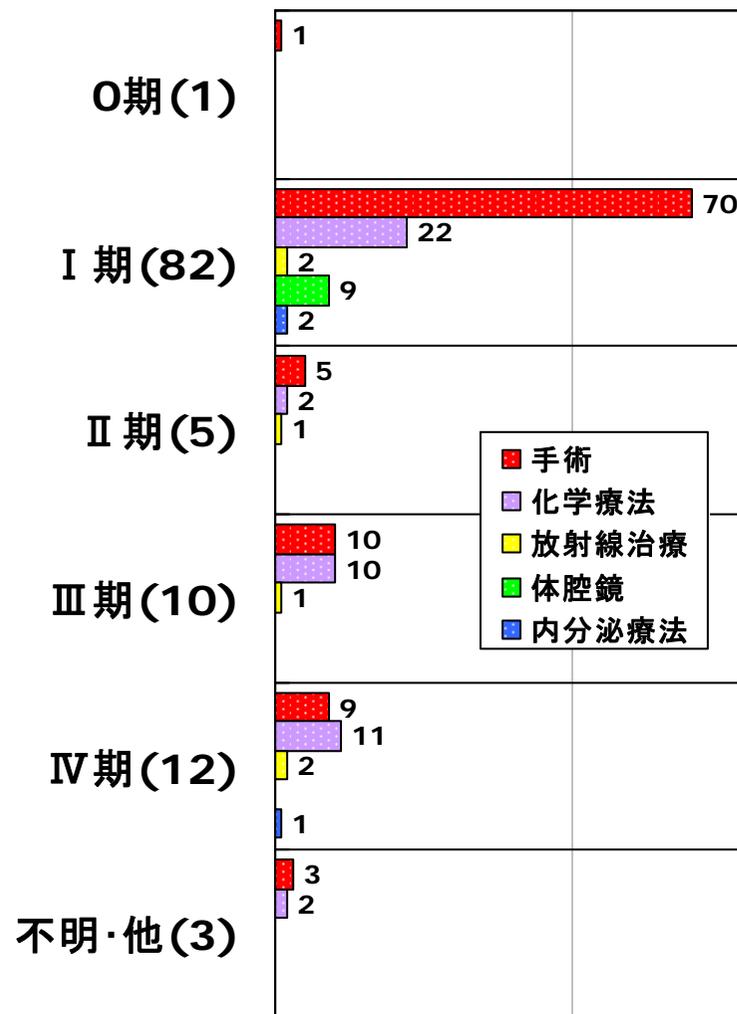
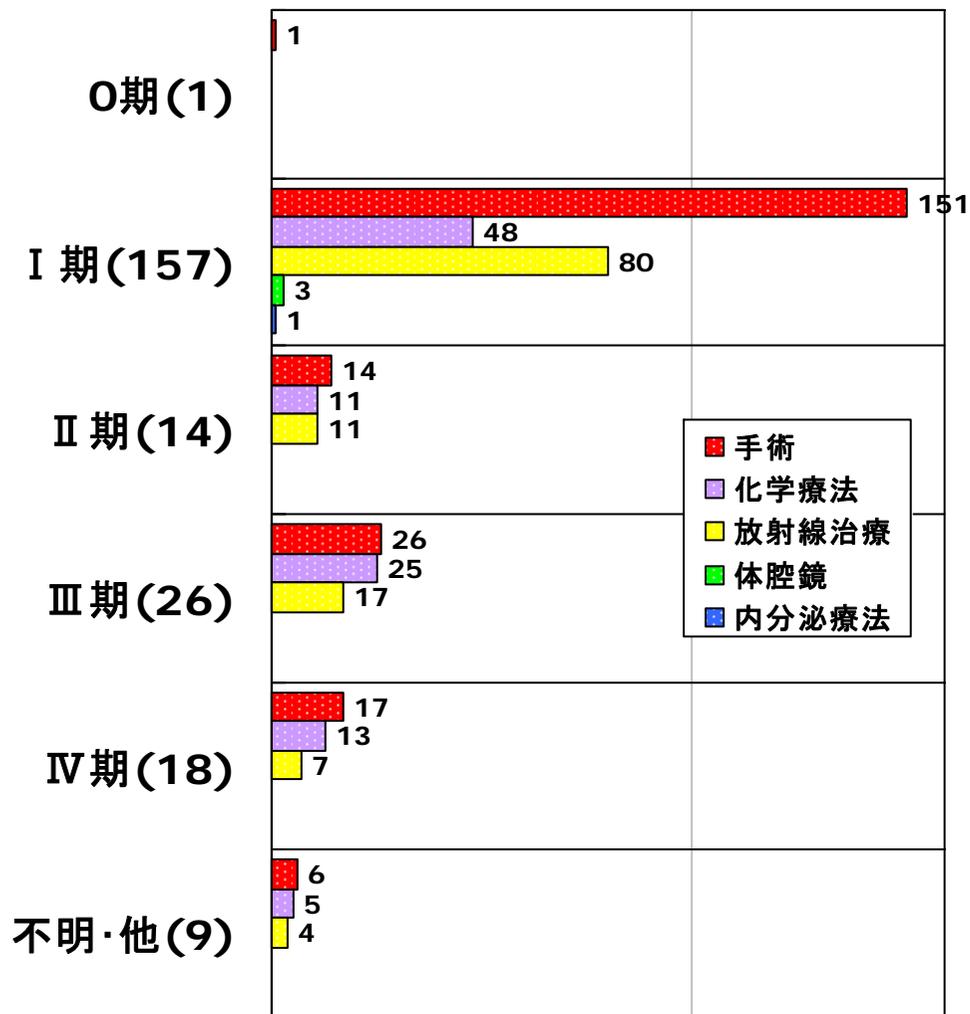
院内がん登録 子宮体癌

ステージ別初回治療法別登録数

2007年～2013年
初回治療施行症例 癌腫のみ

2007年～2011年
子宮体癌225例(UICC6th)

2012年～2013年
子宮体癌113例(UICC7th)

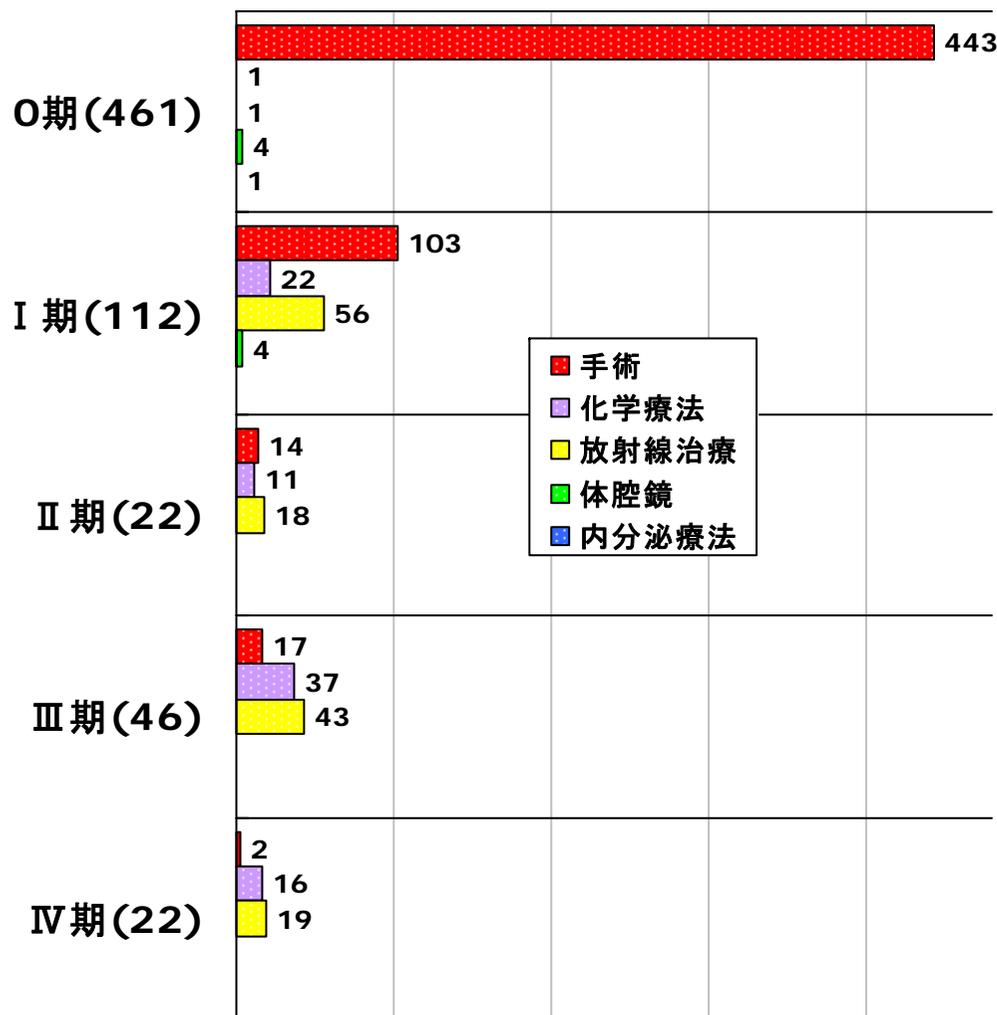


院内がん登録 子宮頸癌

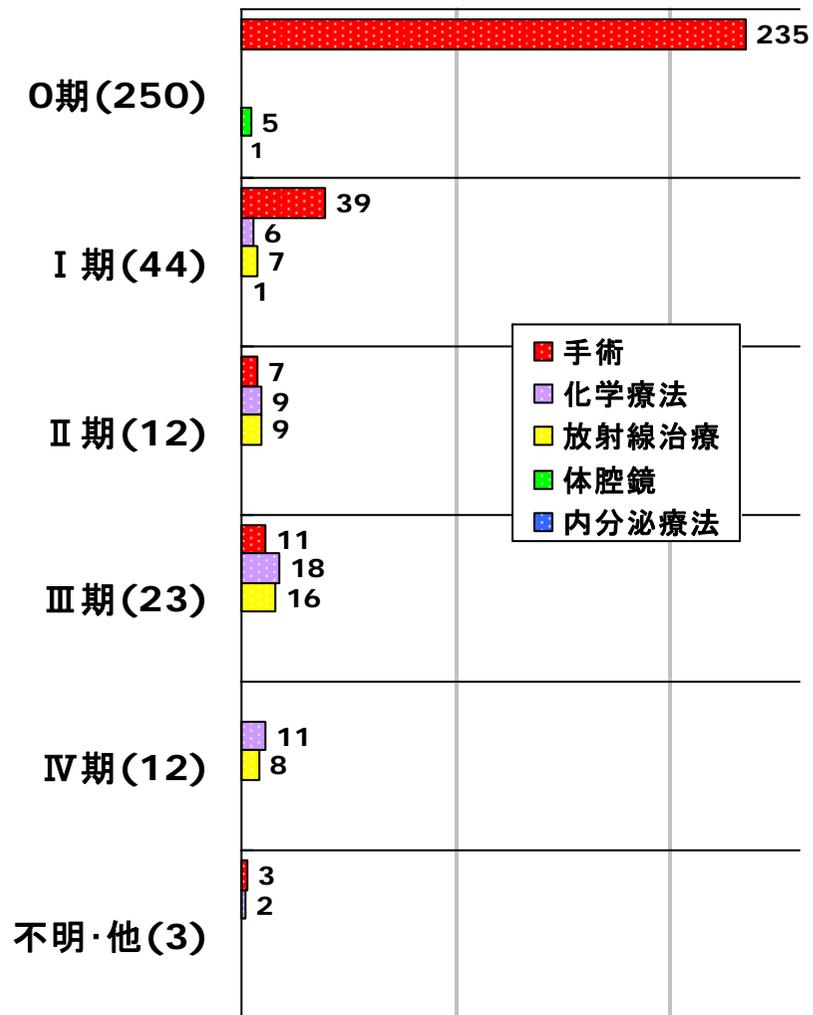
ステージ別初回治療法別登録数

2007年～2013年
初回治療施行症例 癌腫のみ

2007年～2011年
子宮頸癌663例(UICC6th)



2012年～2013年
子宮体癌344例(UICC7th)



2014年9月

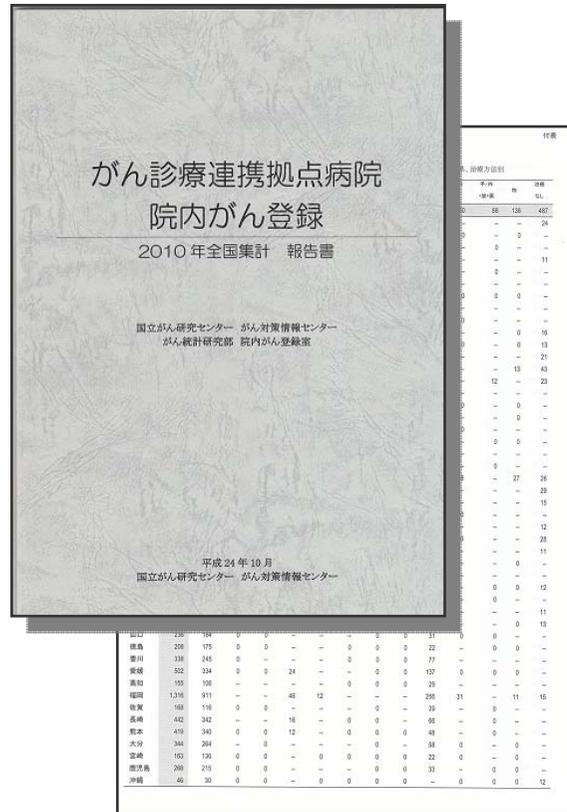
施設実名入りの情報公開

国立がん研究センターがん対策情報センターから

院内がん登録「施設別集計結果」が一部公開される

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2012年全国集計報告」

2014年現在 397施設



調査の背景と目的

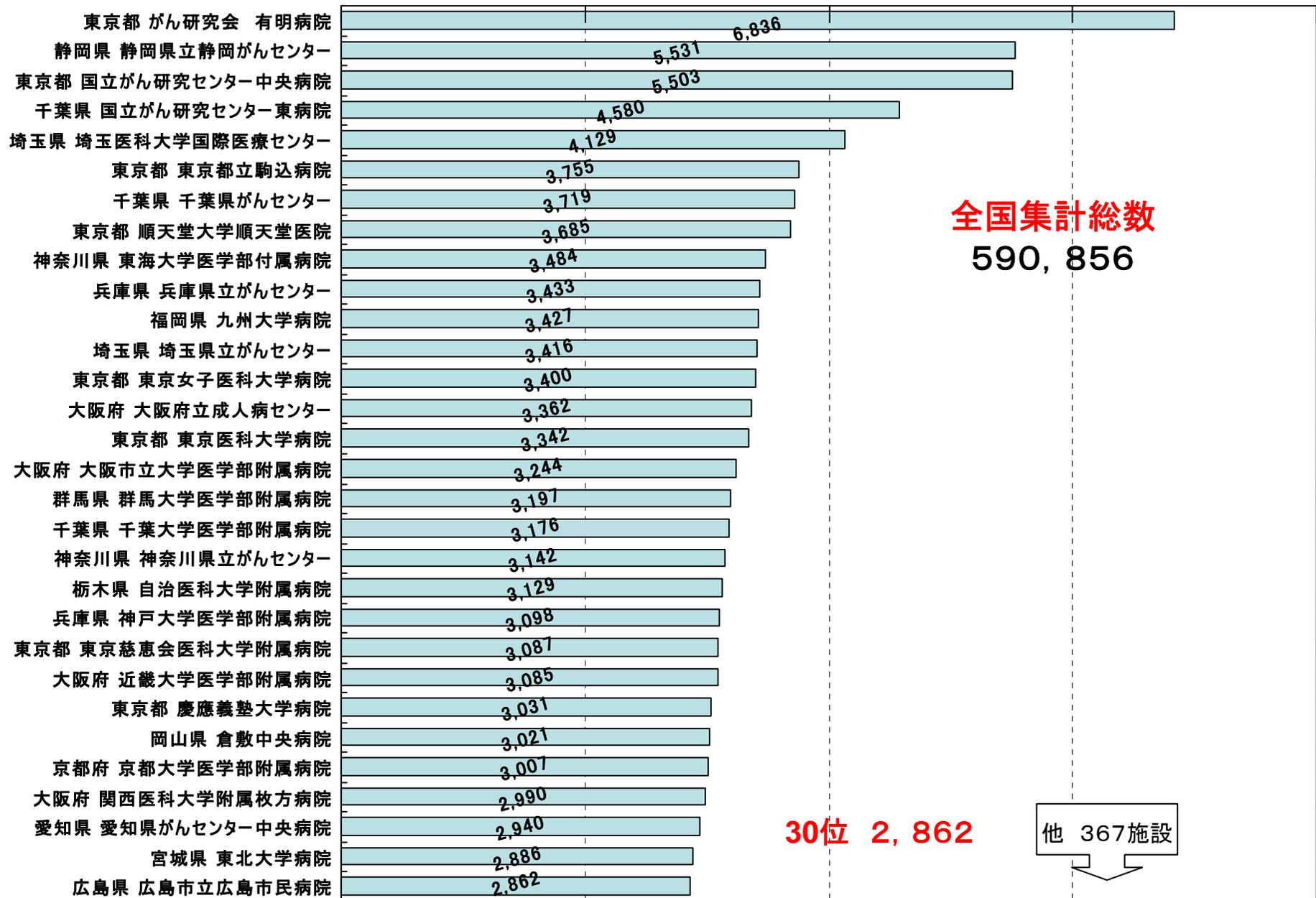
平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、がん診療連携拠点病院が指定・拡充されてきた。

これらのがん診療連携拠点病院は都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つ共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

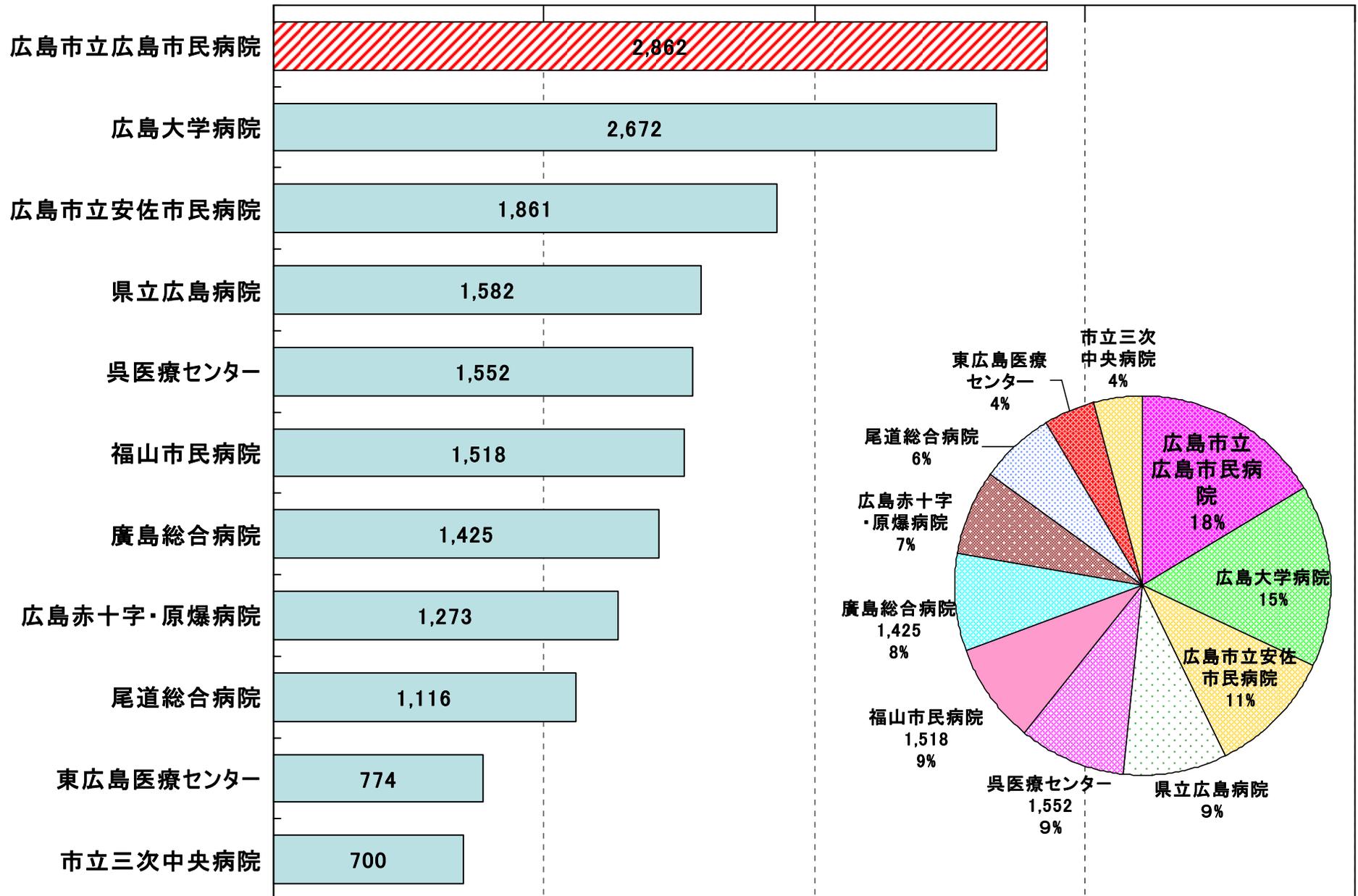
本調査の目的は、全国のがん診療連携拠点病院において実施されている院内がん登録のデータを集計することにより、以下の基礎資料を提供することにある。

- ①各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる
- ②各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する

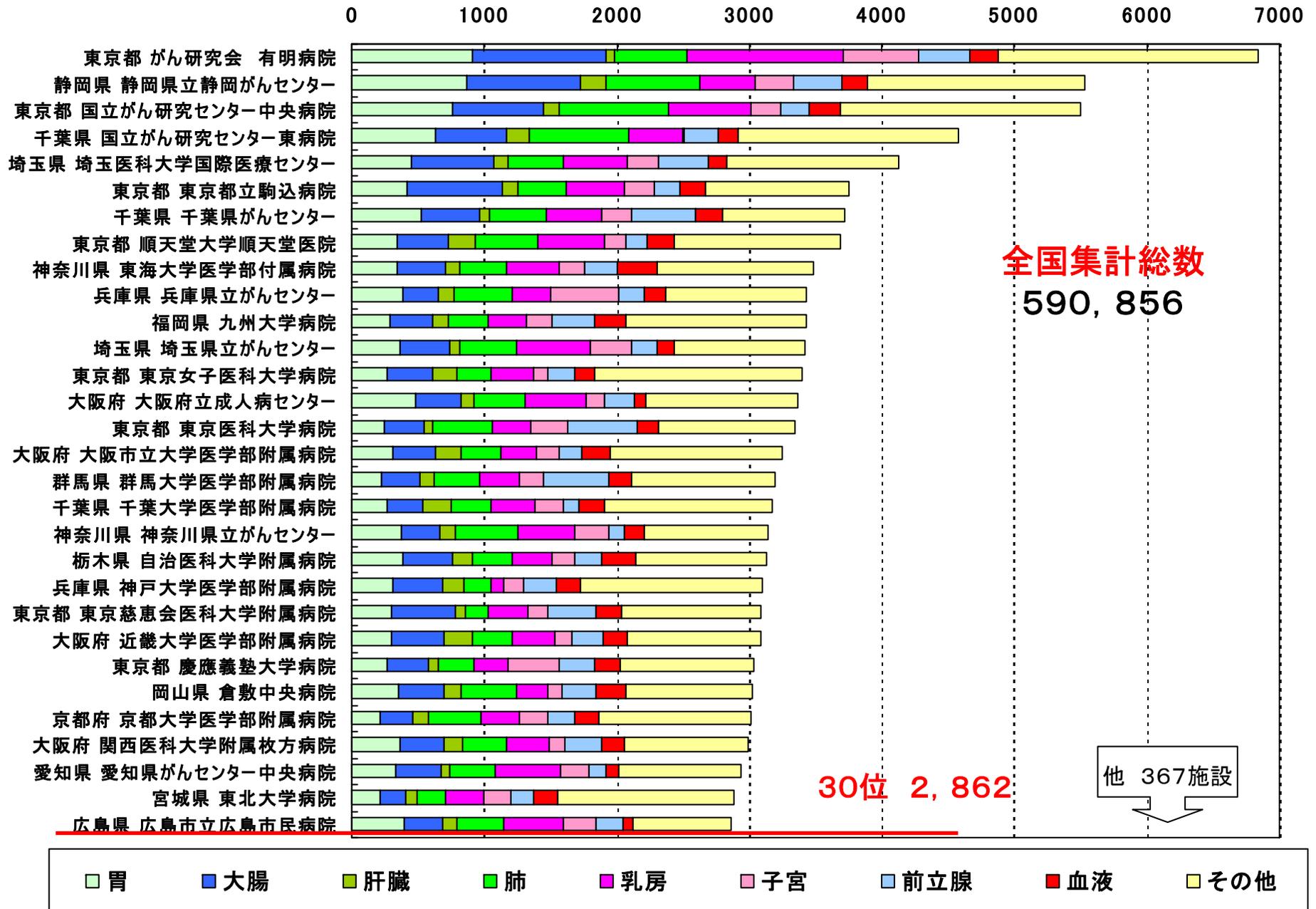
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果(登録総数)397施設中上位30位 (セカンドオピニオン他を除く)



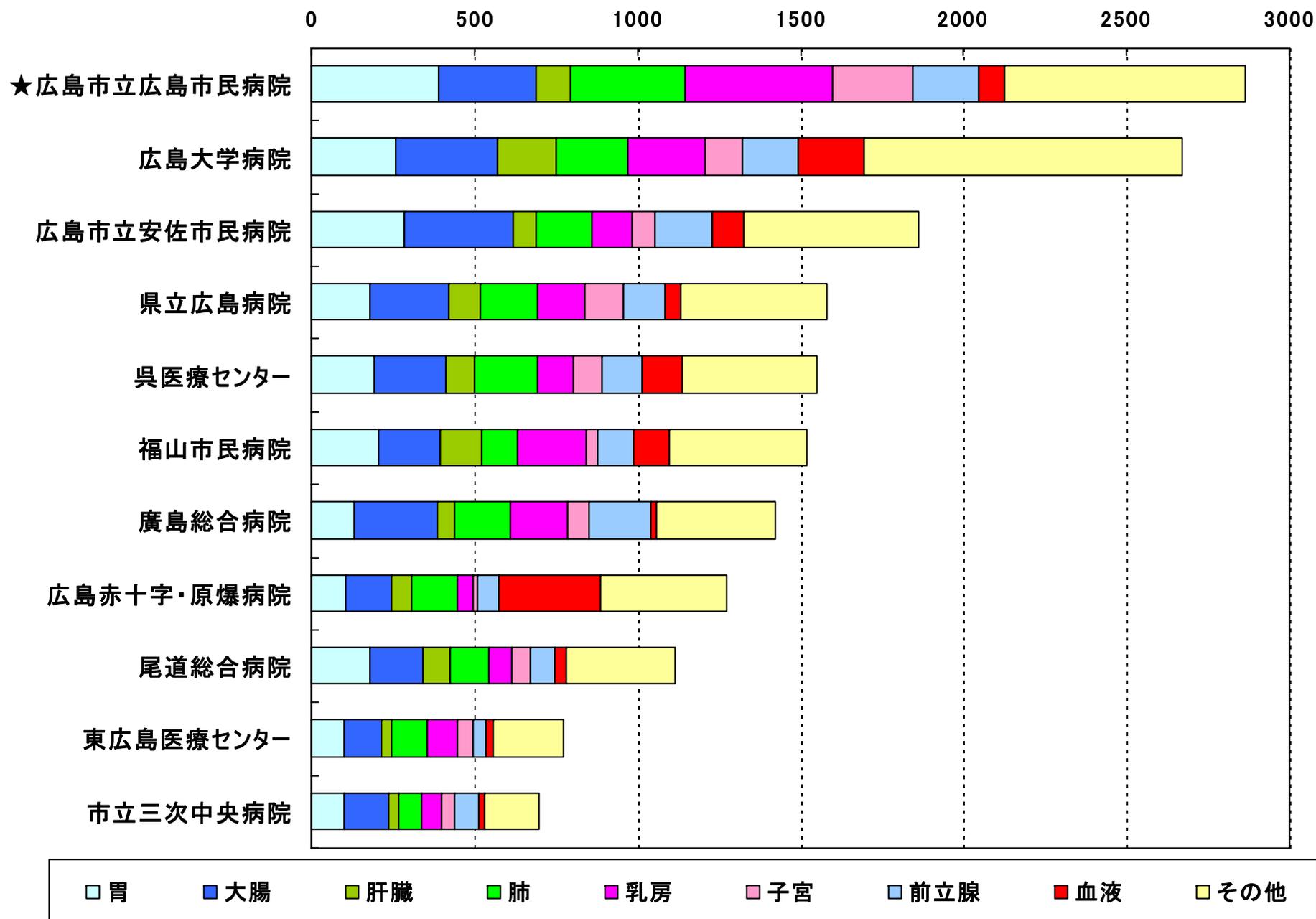
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果(登録総数)広島県内
 (セカンドオピニオン他を除く)



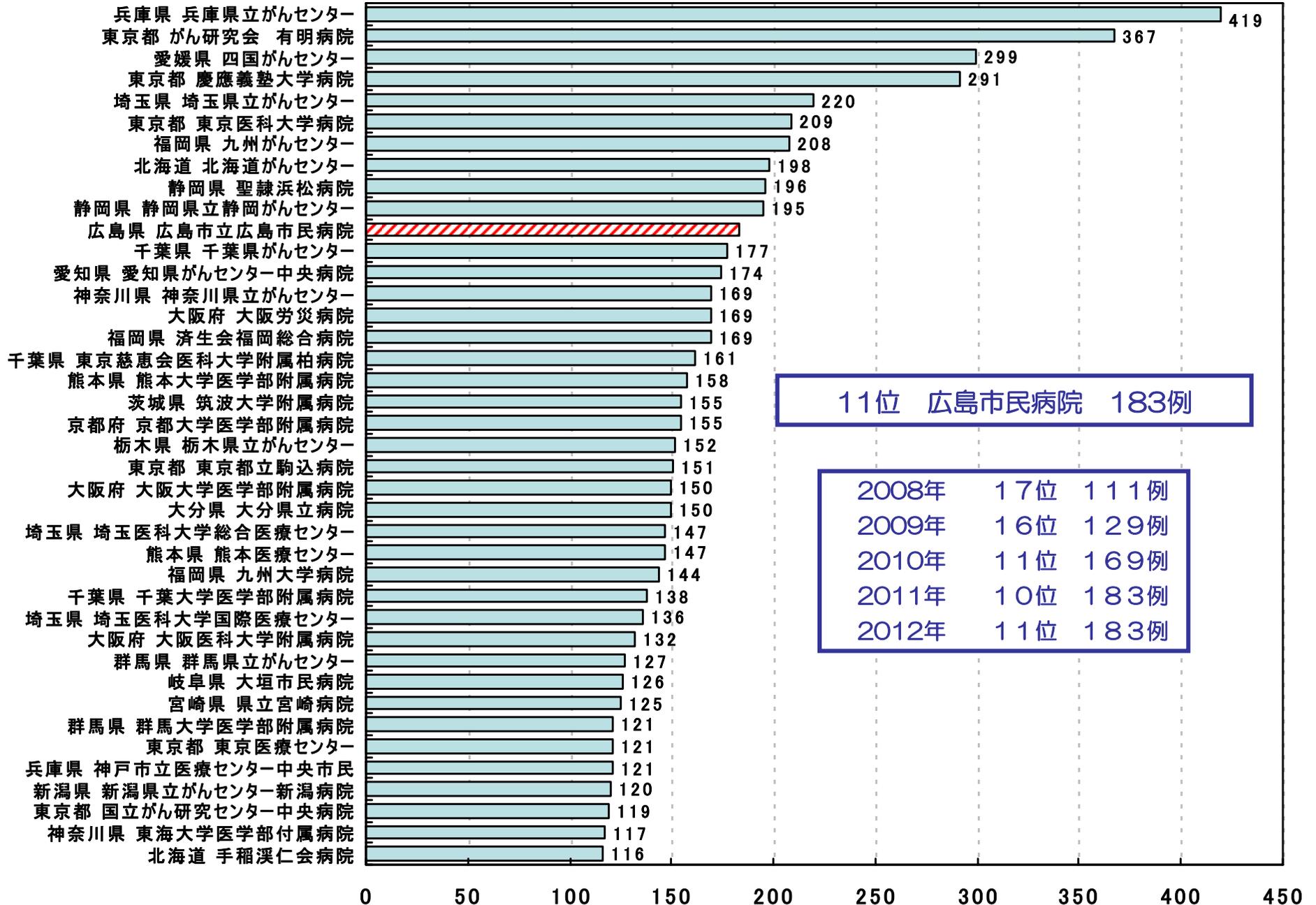
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果(部位別登録数)
 (5大癌・子宮・前立腺・血液・その他)397施設中上位30位 (セカンドオピニオン他を除く)



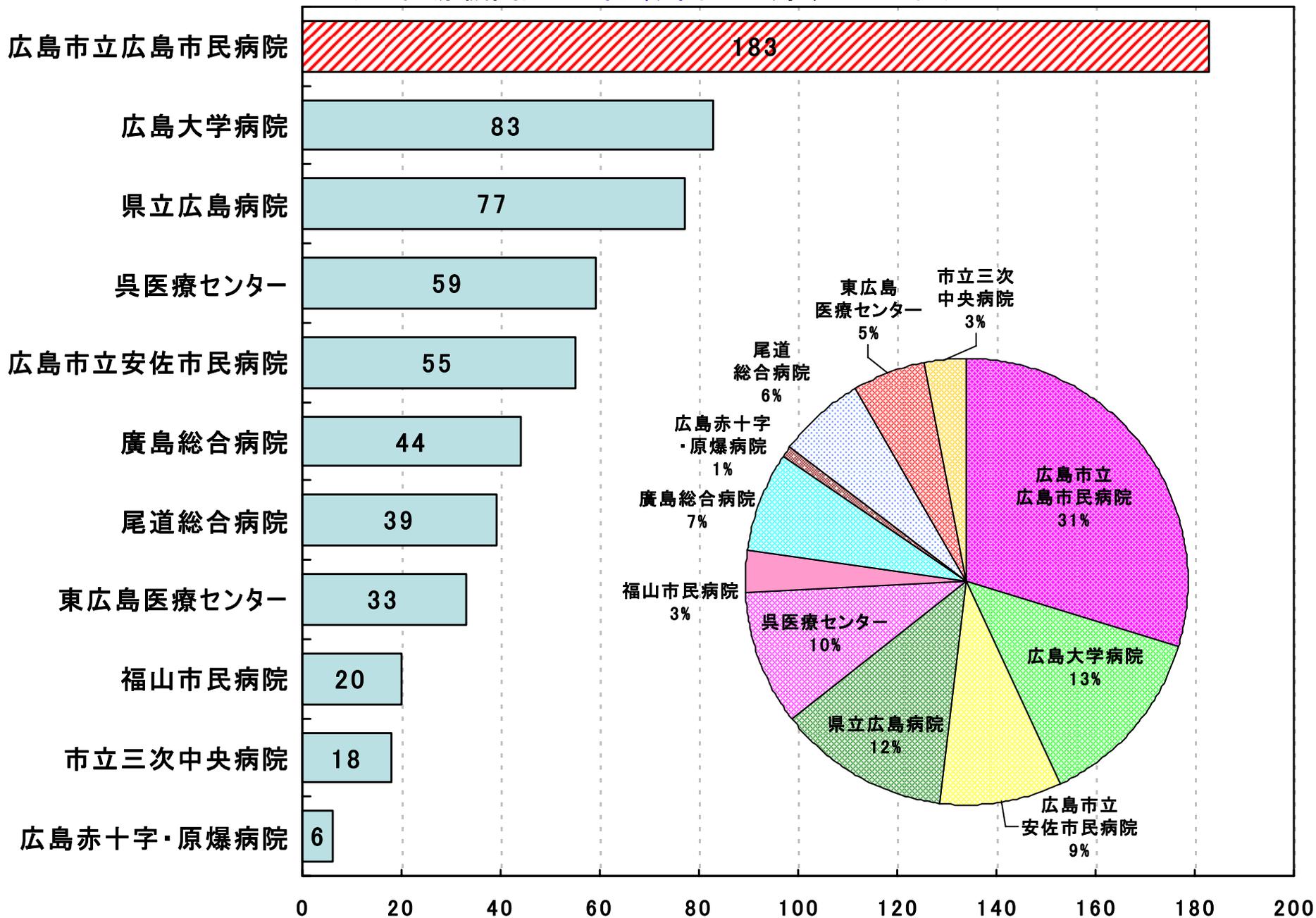
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果(部位別登録数)広島県内
 (5大癌・子宮・前立腺・血液・その他) (セカンドオピニオン他を除く)



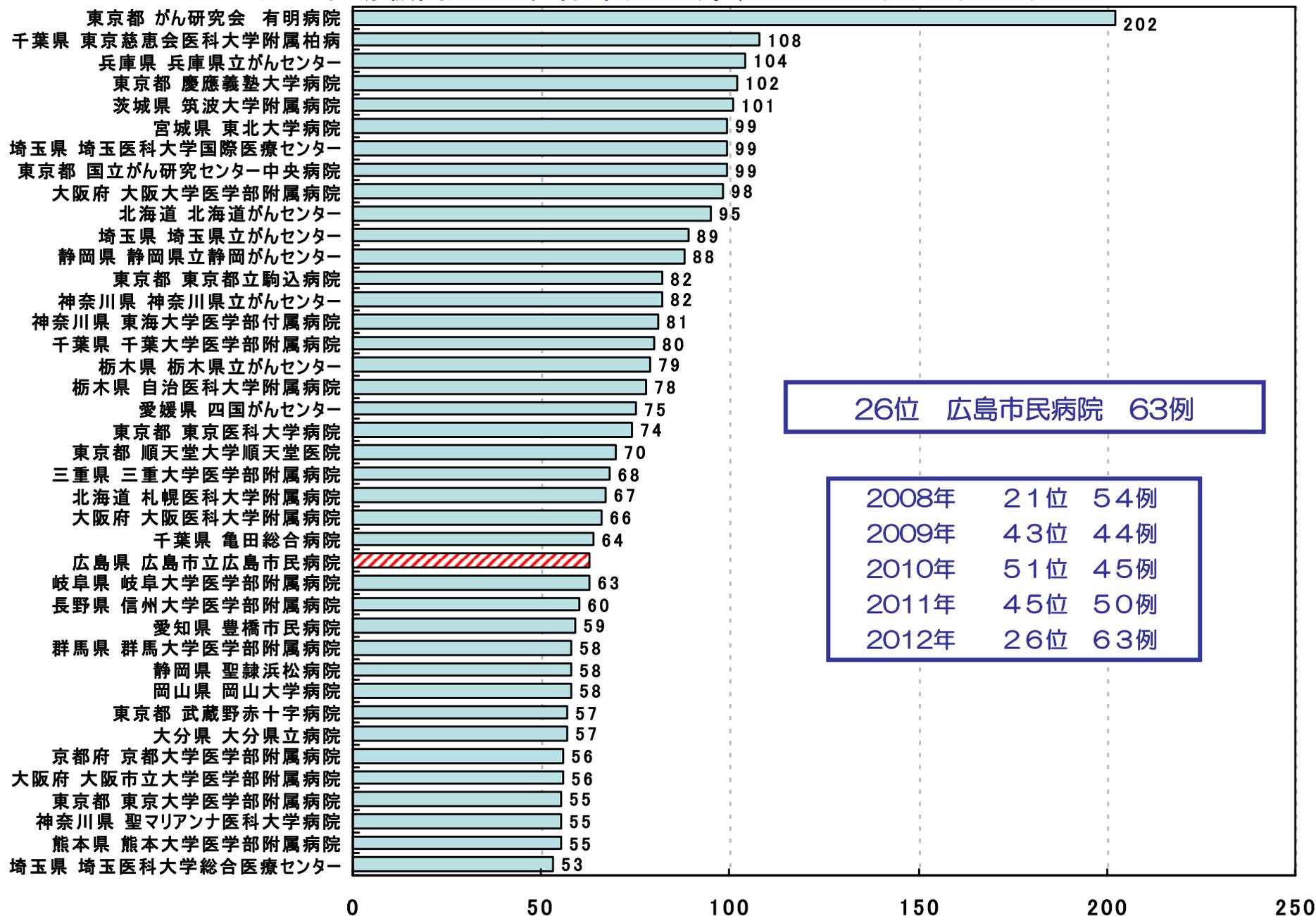
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果 (397医療機関別 子宮頸部癌 登録数 22368例)上位40位



広島県がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果
 (11医療機関別 子宮頸部癌 登録数 617例)



全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果 (397医療機関別 子宮体部癌 登録数 10344例)上位40位



広島県がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2012年集計結果

(11医療機関別 子宮体部癌 登録数 273例)

